



お薬や健康に関するお悩みは、お気軽にケーアイ調剤薬局へご相談下さい。

がん検診を受けていますか？

日本でがんは死亡原因の第一位となっており、早期発見と適切な治療によって多くの命を救うことができます。そのため、国はがん検診を推進していますが、がん検診の受診率は決して高くなく、特に忙しい世代にとって受診のハードルが高いのが現状です。

「時間がない」「自分は大丈夫」…そう思っていないませんか？



がんは年齢や性別に関係なく、誰にでも起こり得る病気です。早期発見・早期治療のためには、定期的ながん検診がとても大切です。お住まいの自治体によっては、**休日や夜間にも受診できる検診**を実施している場合があります。まずは一度、自治体や健康保険組合のホームページをチェックしてみましょう。自分の未来のため、そして自分の大切な人のために、少しでも時間をつくってみませんか？

胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・子宮頸がんは、国が検診を推奨しているがんです。これらは、早期発見・早期治療で治る可能性が高いがんでもあります。定期的ながん検診を受けることで、大切な命を守るにつながります。

国が推奨するがん検診

種類	検査項目	対象年齢	受診間隔
 胃がん	内視鏡検査	50 歳以上	2 年に 1 回
	X 線検査※		
 肺がん	胸部 X 線検査	40 歳以上	年 1 回
 大腸がん	便潜血検査	40 歳以上	年 1 回
 子宮頸がん	細胞診	20 歳以上	2 年に 1 回
 乳がん	マンモグラフィ	40 歳以上	2 年に 1 回

※胃部 X 線検査については、当分の間、40 歳以上、1 年に 1 回の実施も可

がん検診の情報は、以下の方法で確認できます：

- **加入している健康保険組合の公式ホームページ**
→ 健診の種類や補助の有無、申込方法が掲載されています。
- **お住まいの自治体の公式ホームページ**
→ 検診の日程、対象者、費用、会場などが確認できます。
- **自治体から届く「広報誌」や「お知らせハガキ」**
→ 家庭に届く紙媒体でも検診の案内が行われています。
- **地域の保健センターや役所の窓口**
→ 対面での相談や予約のサポートを受けることができます。

<がん検診の検査内容>

◆胃がん

胃内視鏡検査 (胃カメラ) 内視鏡検査 	・細いカメラで胃の中を直接見ます。 ・小さな病気も見つかりやすいです。 ・のどに違和感を感じることもありますが、眠る薬を使うこともできます。
胃 X 線検査 (バリウム検査) バリウムによる X 線検査 	・白い液体（バリウム）を飲んで、胃の形をレントゲンで撮影します。 ・痛みはなく、短時間で終わります。 ・検査後はバリウムを体外に出すため、下剤を飲みます。

◆肺がん

胸部 X 線検査 	・胸に X 線を当てて肺の異常を調べます。 ・痛みはなく数分で終わる簡単な検査です。 ・肺がん以外にも、肺炎や結核が見つかることもあります。
---	--

◆大腸がん

便潜血検査 	・自宅で便を採取し、目に見えない血液を調べます。 ・痛みはありません。 ・血液が見つかった場合は、大腸内視鏡などの精密検査が必要です。
---	---

◆子宮頸がん

細胞診 	・子宮の入り口からやさしく細胞を採取して調べます。 ・がんになる前の変化も早期に発見できます。
---	--

◆乳がん

マンモグラフィ 	・胸を専用の機械ではさんで X 線撮影します。 ・小さなしこりや石灰化も見つかりやすいです。 ・人によっては多少の痛みを感じるがありますが、数分で終わります。
---	---

がん検診のメリットとデメリット

メリット	デメリット
早期発見・適切な治療により命を守ることができる	すべてのがんを確実に見つけることができるわけではない
がんを早く見つけることで、体への負担が少ない治療ですむことがある	検査によるリスク（内視鏡による出血など）がごくまれにある
家族や大切な人の安心にもつながる	検査や検査結果に少し不安を感じることもある

がん検診にはメリット・デメリットがありますが、それを知った上で、自分にとって納得のいく選択をすることが大切です。自分自身の未来のため、そして大切な人のため、がん検診について前向きに向き合ってみることも大事な一歩ではないでしょうか。